

令和6年3月31日

日本文理大学医療専門学校
校長 豊住 昭和 殿

学校関係者評価委員会
委員長 丸山 晃二

学校関係者評価委員会報告

2023年度 学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 吉田 幸人 (大分県放射線技師会 会長)
- ② 丸山 晃二 (大分県臨床検査技師会 会長)
- ③ 小川 一 (大分県臨床工学技士会 理事長)
- ④ 小野 浩平 (日本文理大学医療専門学校校友会 会長)
- ⑤ 菊原 利晃 (日本文理大学医療専門学校後援会 会長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和5年 7月11日 (会場 日本文理大学医療専門学校)
- 第2回委員会 令和5年11月16日 (会場 日本文理大学医療専門学校)
- 第3回委員会 令和6年 3月 7日 (会場 日本文理大学医療専門学校)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

別紙

I 重点目標について

1 重点目標 1について

1 学校の教育理念と目標

学校の教育理念と目標は、将来の医療人として学ぶ者に対して、適切な内容で定められており、教育活動や学生支援において目標達成に向けた取り組みが伺える。引き続き、教育理念に基づいた教育の徹底を図り、優れた人材の輩出に期待する。

2 重点目標 2について

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

国家試験合格率 100%に向けた取り組みや、就職活動に対するサポート体制は適切に実施されており成果も出ているが、100%を到達していない学科に関して更なる対策を望む。現時点での就職内定率が低い点については改善に向けた議論を十分に行ってほしい。

3 重点目標 3について

3 学科の目標

目標達成に向けた取り組みは評価できるが、数名の退学者がおり、目標を達成できたとは言い難い。さらなる対策を検討する必要がある。入学した学生全員が医療資格を取得し、医療人として活躍できるように取り組んでほしい。

Ⅱ 各評価項目について

1 教育理念・教育目標

評価項目に対する取り組みは実施されていると思うが、具体的に目標としているものが何か、どのような対策がなされているのかが見えてこない。

2 学校運営

運営組織が整備されており、適切に機能している。
学外実習先とも契約書を取り交わすなどコンプライアンス体制も整っている。
積極的に情報公開している点は評価できる。
分散している業務システムを一本化し、更なる業務効率化を図る必要性を感じる。

3 教育活動

教育理念に沿った教育課程の編成・実施が適切になされている。カリキュラム改定に伴い新たな科目に対して教員の自助努力が感じられる。
授業アンケートや研修の実施など、教員の資質向上に向けた取り組みは継続的に実施していただきたい。

4 学修成果

資格取得や就職へのサポート体制は手厚く実施しており評価できる。今後も更なる向上に努めていただきたい。年度内での就職内定率が100%に達していない。積極的に就職活動が行われるように対策を講じる必要性を感じる。

5 学生支援

就職支援に関する体制は整備されており、求人に関する情報公開や受験までの流れも適切に対応している。
学生相談に関する体制も整備されておりメンタルケアに努めていることを感じる。
経済的な問題を抱える学生に対する支援体制は整っている。また、修学支援新制度の確認対象校となったことは評価できる。

6 教育環境

閉校に伴い、机・椅子などの設備が整えられなくなることも理解できるが、学生に対して不利益にならないように計画的に備品の移設などを実施することを望む。

7 財務

財務については、毎年の収支を把握できているうえ、収支のバランスはとれている。しかし、学生数の逡減により収入減が続いており対策が必要。

8 法令等の遵守

関係法令等を遵守し、適切に学校運営が実施され、必要な諸規定も整備している。さらに、自己点検・自己評価も実施されており、ホームページで公表されている。今後も、継続的に法令遵守に努めることを望む。

9 社会貢献・地域貢献

新型コロナウイルス感染症も5類に引き下がり、ボランティア活動等が活発になっていることは評価に値する。